

---

# 罪を背負いし騎士

朧月朱狐

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

罪を背負いし騎士

### 【Nコード】

N7663Z

### 【作者名】

朧月朱狐

### 【あらすじ】

ギルティクラウンの主人公に転生した元女騎士。

彼女は過去に囚われていた。

身体は男、心は女とちぐはぐなしかし、ある条件で女に戻ってしまう主人公。

そんなとき、少女との出会いで彼女の運命の歯車が動き出す。

## プロローグ

血が流れた。

大地は血と死で汚れ、空は黒煙で黒く染まる。  
幾千の、幾万の死が “ ” の周りに転がっている。

立っているのは “ ” 一人。

黒煙に染まった空から、黒い雨が降ってくる。  
血で染まった鎧を黒い雨が洗い流す。

「 、 、  
」

誰かが呼んだ。

それに応えるために振り向こうとして。

P i p i p i p i P i p i p i p i

時計のアラームが鳴る。

手探りで時計のアラームを止めた僕は少しの間だけ、そこを動か  
なかった。

理由は簡単だ。

「また、あれか…」

たまに見る、中世を舞台にした戦争の夢。  
それが僕には何なのか分かっていて。  
だから余計に見たときは気分が沈む。

「もう、関係ないのに」

一人、僕は呟く。

そう、僕はもう関係ない。

僕は“ ” じゃない、アレは全て【過去】なのだ。

何故、僕に纏わりつく。

何故、そっとしておいてくれないのだ。

「それが、僕の罪なのか」

僕の見る夢、それは過去の僕自身の夢。  
前世の僕の記憶を夢にしたものだった。

## プロローグ（後書き）

やってしまった感バリバリの小説。  
原作を見た瞬間、ビビッと来てしまっ  
て勢いで書いてしまった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7663z/>

---

罪を背負いし騎士

2011年12月25日00時48分発行